

サウンドスケープ・コンポジション ガブリエーレ・プロイ

レクチャー&コンサート参加者募集

ガブリエーレ・プロイは現代オーストリアを代表する作曲家の一人です。〈作曲家〉というと、ピアノを弾きながら五線譜に音符を書き込む姿を想像します。しかしプロイ氏の作曲技法はそれだけには留まりません。例えば、写真家が風景を切り取り作品にするように、彼女はサウンドスケープ(音の風景)を録音によって切り取り、それを更にスタジオで洗練させていく、という作曲技法を用います。今回、世界各地で好評を得ている彼女の作品を、本人のトークとともに楽しみ頂きます。

■ プログラム

Waldviertel	ヴァルトフィアテル
Kimochi	キモチ
Miracle	ミラクル
Habana	ハバナ
Wien West Bahnhof	ウィーン西駅

■ プロフィール

Gabriele Proy
(ガブリエーレ・プロイ)

1965年生まれ、ウィーン在住の作曲家。サウンドアーティスト。ウィーン音楽大学にて修士号(作曲)及び、教員資格(ギター)を取得する。



彼女のエレクトロアコースティック・サウンドスケープ作品は、ヨーロッパ、オーストラリア、カナダ、アメリカ及びラテン・アメリカなどのコンサート、放送で幅広く紹介されている。2001年より欧州サウンドスケープ学会(FKL)の会長。2005年には〈日本-EU年〉の委嘱を受け『ヴァルトフィアテル』を作曲、2006年には弘前大学で開催されたWFAE世界音響生態学会にヨーロッパ代表委員として出席した。また、2007年にはミュンヘン・フィルハーモニック合唱団が『心』を初演し好評を得た。2008年にはウィーンにて『起源』を初演、2009年にはザンクト・ブルテン大学で開催されたFKLシンポジウム"soundscape & Listening"のプロジェクト・リーダーをつとめるとともに、オーストリア政府より〈日本-オーストリア年〉のための作品『気持ち』を委嘱された。

出演者：ガブリエーレ・プロイ（作曲家、欧州サウンドスケープ学会会長）

コーディネーター&通訳：今田匡彦（弘前大学教授）

日時：2009年10月30日（金） 開場 18：30 時間 19：00～20：30

場所：青森県立美術館スタジオ

料金：無料 限定20名（先着順。事前の申し込みが必要です。）

主催：青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会、青森県立美術館

助成：財団法人地域創造

協賛：オーストリア共和国連邦政府国際省 オーストリア文化フォーラム東京

Presented by Aomori Museum of Art with thanks to the Austrian Federal Ministry of European and International Affairs and the Austrian Cultural Forum Tokyo.

Bundesministerium für europäische
und internationale Angelegenheiten



申込み・お問い合わせ

青森県立美術館パフォーミングアーツ推進実行委員会「楽の音・日本の音」事務局

〒038-0021 青森市安田字近野 185 TEL:017-783-5243 FAX:017-783-5244

E-Mail:oto2009@aomori-museum.jp(件名を「10月30日予約」として下さい。)

※ 参加希望の方は、下記に御記入の上、郵送・FAXでお申し込み下さい。電話・E-Mailでの申込みも受け付けています。

レクチャー・コンサート参加申込書

参加者氏名		2名以上での参加希望の場合	他	名
連絡先	電話番号	メールアドレス @		